



横浜陶芸友の会だより

第 149 号

平成 24 年

1 月 1 日発行

新春を彩る



「第 33 回横浜陶芸友の会

作品展に向けて」

会長 松崎紀一

皆様いかがお過ごしでしょうか。作品展に向けての準備はいかがですか。作品展に楽しみをしておられる方もいらっしゃると思いますが、そうでない方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。ともあれ、作品展は、友の会だけでなく多くの市民の方々にも期待され、楽しんでいただいております。ふるって参加していただき、大いに楽しんでいただければ幸いです。

さて、私はこの数年、人形作りを楽しんでおり、今回も人形を出品する予定ですが、思い起こせば、私が人形を作るきっかけになったのは、作品展で先輩の信岡美野里さん（現在広報部でご活躍中）の人形を拝見して、と

ても感動し、私も作りたくなったからです。

また、我が家で一杯やるときに愛用している片口は、同じく作品展で出会った鈴木貴久さん（現在事業部でご活躍）の作品に感心し、私も挑戦したくなって作ったものです。

そのほか、我が家で使っている食器の多くが、仲間の作品をヒントにしたものです。

きっと、作品展は、多くの仲間が互いに影響しあう中で、認め合い、作陶技術・知識を深め合う場として位置づけられているのではないのでしょうか。また、今回出品されない方にとっても、他の作品展では味わえない自由で温かく、個性豊かな作品群は、感動や面白さを与えてくれます。

そして、今年も市内の特別支援学校の児童生徒さんの作品が会場に展示されます。このことは、市民文化の担い手である私たちの活動としても、ユニバーサルデザインを目指す国際文化都市横浜の未来を象徴するものとして、大変意義のあることだと思います。

謹賀新年

皆さん、会期中は是非会場に顔を出していただき、一つ一つの力作に出会っていただきたいと思います。きっと、いい出会いが待っています。楽しみにしてください。

最後に、今回は、会員の皆様に会長名でアンケートをとらせていただきます。何卒ご協力をお願いします。



第 33 回 『作品展』のお知らせ

事業部 鍋島

12 月はじめに、『作品展』の詳細と申込書を別途、配布いたしました。

皆様、まもなく今年度の『作品展』が始まります。もう、作品の準備はお済みでしょうか？

今回、会員の皆様全員に活動状況アンケートを同封いたしました。回収は作品展会期中です。ぜひ、ご協力お願いいたします。

今年度のまとめと一年の始まりの『作品展』です。会場を盛り上げるためにも、会員の皆様には奮って出展下さいますようお願い申し上げます。

【場所】 横浜市民ギャラリー 一階

(教育文化センター内 JR 関内駅下車)

【開催期間】平成 24 年 1 月 11 日(水)

16 日(月) 6 日間

【出展料】 一区画(幅 30 cm) 二千元

【特設コーナー】「陶管」とうぼこ

15 cm 角以内の大きさ。高さ自由

※出展料は無料

【申し込み締め切り】

平成 24 年 1 月 5 日 必着

【会場設営・準備】

1 月 11 日(水) 9 時から行います

【作品の受付時間】

設営が終了し、10 時半から行います。

※9 時の準備の時、来た順に整理券を渡します。整理券の番号順に受け付けを行います。作品の置き場所は受け付け順で決めていきます。ご了承ください。

「美濃焼特設コーナー」

昨年度の窯場見学会でお訪ねした折、瀧口喜兵衛先生のご好意で絵付けをさせていただきました。

その作品が届いておりますので、特設コーナーとして展示させていただきます。最終日に、お渡ししたいと思っておりますので、お立ち寄りください。

「作品展」の会期中『この人の作品について色々お聞きしたい』との声をよく聞きます。

そこで、今年度、初めての試みとして最終日の 1 時から『作品説明・質問時間』を設定したいと思っております。

初日の会場設営終了後、役員で検討し候補を挙げ了解を得るため連絡を入れたいと思います。ご協力ください。

最終日、少し早めに来館し、陶芸談義に花咲かせましょう。

★懇親会のお知らせ★

日時 1 月 14 日(土)

18 時 15 分より

会場 『津和野』

(市民ギャラリーより 徒歩 3 分)

会費 5 千円

申込みは搬入時をお願いします。おいしい料理と楽しい陶芸談義のおしゃべりで親交を深めましょう。皆様の参加をお待ちしています。

役員会だより

総務 大内

11 月 26 日今年度 3 回目の役員会は、和室の畳の上に毛氈を敷き、テーブルとイスを運び、早めに来てくれた女子の活躍で開催(かたづけは元気な男子にお願い)

・作品展についての打ち合わせ。

会期中の当番決め。

案内葉書の配布依頼。

会場内で、もったいないコーナーを作り

道具類を欲しい人へ上げる。

市民ギャラリー今後の展望等の話し合い。

・2 月 4 日に山田常山展「

見学予定

・専修部秋の焼成会の報告

・会員向けのアンケート実施等が、話し合われました。



美術館見学会

三代 山田常山 人間国宝、

「その陶芸と心」

「たのし うつくし 手仕事」

事業部 吉川

三代山田常山(1924～2005)は大正13年、愛知県常滑市に生まれた陶芸家です。三代常山は、十代から急須作りを始め、81年の生涯に100種類もの形を生み出し、多彩な急須の世界を築き上げました。その功績により、平成10年、陶芸分野では愛知県で初めて、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。質朴で温もりにみちた、急須、煎茶具、茶碗や酒器・食器・花器・登窯で焼かれた常滑自然釉壺など、古典的なものから現代的な感覚の作品約180点の全貌が初公開されます。急須という定点をもちながら、たゆまず、ひたすらに歩んだ三代常山の陶芸と人生が観賞出来ます。

・期日 平成24年2月4日(土)

・場所 出光美術館 帝劇ビル9階

・交通

○JR「有楽町」駅 国際フォーラム口より徒歩5分

○東京メトロ 日比谷線・千代田線

都営三田線「日比谷」駅

東京メトロ 有楽町線「有楽町」駅

帝劇方面出口より徒歩5分

・集合場所 出光美術館正面入口

・集合時間 午前10時

・入館料 一般千円

(団体20名以上、二百円引)

・申込み締切り

平成24年1月28日(土) 必着

・申込み方法 葉書に「美術館参加」と明記し、住所・氏名・電話番号を記入の上、申込み下さい。

・申込み先 事業部・吉川 勝あて (住所は名簿をご覧下さい)

会員多数のご参加をお待ちしています。参加希望者には詳しい資料を後ほどお送りします。



「ぐい呑み会」を主催して

大日方 毅

昨年10月のぐい呑み会は、上永谷にある

「三ツ橋」にて開催しました。

そのお店は治部煮をはじめとする加賀の料理を楽しめるお店です。

お酒好きで食いしん坊のメンバー11名が集まり、ひとりひとりのメンバーが自慢のぐい呑みにまつわるエピソードを披露しました。



お楽しみ会の抽選会では「ぐい呑み」を入れる袋を布で手作りしてプレゼントして下さったメンバーも居て、華を添えていただきました。陶芸という共通の繋がりの中で、お酒を呑む人も呑まない人も親睦を深めることが出来ま

陶陶さん

皆さんの力作を見に行きましょう！

第 71 号

あかほし



お詫びと訂正
 再入会された「赤星 公人志」氏の電話番号が前号(148号)広報誌上で間違っていました。訂正してお詫びいたします。なお、住所録上は正しく記載されています。
 TEL



した。今年はより多くの方に参加していただくことを心から望んでいます。最後に、年明けの作品展に出品する構想を練る良い機会となったことを感じつつ、会はお開きとなりました。

もったいないコーナー

作品展会場で「もったいないコーナー」を設け、山中さん奥様から委託された陶芸道具を展示します。会員の皆さんに有効活用して頂けるようお願いしております。

編集後記

新年は穏やかな歳であるようお願いしています。歳を重ねると何事も変わらない毎日がありますが、同好の集まりで年々歳歳同じように会を維持するのは難しく、新しい試みに一步を踏み出す勇気と企画力が同好会を維持してゆくエネルギーになるようです。横浜陶芸友の会のこれからの活動方向を考える上で、今回のアンケートは大切な情報源になると期待しています。

吉良

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

<http://www20.atpages.jp/tomonokai/>

横浜陶芸友の会だより 第149号

(平成24年1月1日発行)
 発行人 横浜陶芸友の会
 会長 松崎 紀一
 編集責任者 広報部長 吉良謙



去年は窯場見学会がなくて、広報誌面も寂しかったです。いつも楽しい旅の企画をしてくださる事業部のご苦労は大変なものだと思えますが、今年はや、何処か、皆で見学旅行が出来るといいなあ〜と思います。信岡

今年もまたいろいろなことがありました。あつたというよりあり過ぎです。穏やかに、特別いいことばかり無くてもいいので、地球上のすべてが気持ちよく、お互いを思いあつて暮らせる世の中にならないものでしょうかしら？無理か！
 小松